

第六次国有林野施業実施計画書

(津軽森林計画区)

(第一次変更計画)

計 画 期 間
自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 3 1 日

(第一次変更 令和 5 年 3 月)

東北森林管理局

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項の規定に基づき変更するものである。

- 1 青森ヒバ美林への誘導及び展示を目的としたモデル林を設定するため、伐採、更新及び保育計画を変更する。
- 2 地域振興に寄与するため、伐採、更新及び保育計画を変更する。

【変更項目及び頁】

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(4) 伐採総量	2
(5) 更新総量	4
(6) 保育総量	4

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等	5
----------------	---

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢 (回帰年)
施業群	スギ・カラマツ等	11,936.67	伐区の分散 スギ・カラマツ等の人工植栽	スギ 55 カラマツ 50
	スギ・カラマツ等 長伐期	12,549.53	伐区の分散 スギ又はカラマツの人工植栽	スギ 90 カラマツ 80
	スギ超長伐期	—	伐区の分散 スギの人工植栽	—
	アカマツ等	697.14	伐区の分散 アカマツ等の天然更新	50
	アカマツ等 長伐期	591.29	伐区の分散 アカマツ等の天然更新	80
	植栽型 複層林	2,922.75	人工植栽による複層林誘導 育成複層林の造成	スギ 100 カラマツ 80
	天然更新型 複層林誘導	5,406.73	育成複層林造成 天然更新	70
	ヒバ択伐林誘導	1,977.06	ヒバを主とする天然林・人工林 択伐林への誘導	—
	ヒバ択伐	6,100.55	ヒバを主とする天然林・人工林 択伐天然更新	(15)
	天然スギ	—	天然スギが一定割合成立する天然林 択伐天然更新	—
	広葉樹択伐	20,640.32	ブナを主とする天然林 択伐天然更新	(40)
	ナラ等中小径木	8,095.97	ナラを主とする天然林 ぼう芽更新	30
	施業群設定外	11,345.80		
合計	82,263.81			

(4) 伐採総量

(単位：m3、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山地災害防止タイプ	3,820	128,949 (2,701.70)	132,769				
自然維持タイプ	—	971 (17.69)	971				
森林空間利用タイプ	1,972	10,691 (230.51)	12,663				
快適環境形成タイプ	—	— —	—				
水源涵養タイプ	スギ・カラマツ等	34,363	189,763	224,126			
	スギ・カラマツ等 長 伐 期	688	256,732	257,420			
	スギ超長伐期	—	—	—			
	アカマツ等	2,700	4,811	7,511			
	アカマツ等 長 伐 期	103	16,939	17,042			
	植栽型複層林	43,221	37,653	80,874			
	天然更新型 複層林誘導	20,211	113,293	133,504			
	ヒバ択伐林誘導	—	14,166	14,166			
	ヒバ 択 伐	2,662	—	2,662			
	天然スギ	—	—	—			
	広葉樹択伐	12,416	32	12,448			
	ナラ等中小径木	39,531	—	39,531			
	施業群設定外	554,474	26,000	580,474			
	計	710,369	659,389 (11,803.33)	1,369,758			
合 計	716,161	800,000 (14,753.23)	1,516,161	55,000	1,571,161	—	1,571,161
年 平 均	143,232	160,000 (2,950.65)	303,232	11,000	314,232	—	314,232

注：()は、間伐面積である。

(再掲)市町村別内訳

(単位:m3、ha)

市町村名	林			地		林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
弘前市	72,895	82,110 (1,489.93)	155,005				
黒石市	52,528	64,046 (1,408.18)	116,574				
平川市	62,819	105,800 (2,118.59)	168,619				
鱒ヶ沢町	47,378	85,667 (1,620.37)	133,045				
深浦町	195,895	120,165 (2,366.96)	316,060				
西目屋村	34,756	63,647 (1,196.75)	98,403				
大鱈町	63,729	58,565 (1,085.41)	122,294				
五所川原市	123,545	119,553 (2,038.02)	243,098				
つがる市	—	—	—				
中泊町	62,616	100,447 (1,429.02)	163,063				
計	716,161	800,000 (14,753.23)	1,516,161				

注1:市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

注2:()は、間伐面積である。

(5)更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林 造 成	21.05	—	2.99	—	1,102.65	1,126.69
	複層林 造 成	5.30	—	—	—	115.17	120.47
	計	26.35	—	2.99	—	1,217.82	1,247.16
天然更新	天 然 下 種 第1類	—	—	—	—	2.51	2.51
	天 然 下 種 第2類	20.22	—	—	—	472.40	492.62
	ぼう芽	—	—	—	—	201.94	201.94
	計	20.22	—	—	—	676.85	697.07
合 計		46.57	—	2.99	—	1,894.67	1,944.23

(6)保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
下 刈	単層林 造 成	97.48	—	2.56	—	2,394.08	2,494.12
	複層林 造 成	—	—	—	—	87.27	87.27
	計	97.48	—	2.56	—	2,481.35	2,581.39
つる切・ 除伐	単層林 造 成	17.11	—	—	—	441.17	458.28
	複層林 造 成	—	—	—	—	53.78	53.78
	計	17.11	—	—	—	494.95	512.06

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年	面積(ha)	位置(林小班)	備 考
特別母樹林	秋田スギ特別母樹林	S48	17.07	津軽署 586ち,り	特に優良なスギの種苗を生産するための種穂の採種に適するスギ林として保存する。
	鱒ヶ沢杉特別母樹林	S48	1.75	津軽署 2045う2	特に優良なスギの種苗を生産するための種穂の採種に適するスギ林として保存する。
	クロマツ特別母樹林	S48	5.35	金木支署 638へ	特に優良なクロマツの種苗を生産するための種穂の採種に適するクロマツ林として保存する。
遺伝子保存林	スギ遺伝子保存林	S45	1.61	津軽署 375と	採種源:126と(伐採済)スギ優良林分の遺伝子を後継する林分として保存する。
	スギ遺伝子保存林	S45	3.40	津軽署 555ぬ,586る2	採種源:572りスギ優良林分の遺伝子を後継する林分として保存する。
	スギ遺伝子保存林	S47	3.51	津軽署 716り,732そ	採種源:728へ2スギ優良林分の遺伝子を後継する林分として保存する。
	スギ遺伝子保存林	S44	1.00	津軽署 2048ふ2	採種源:2045う1スギ優良林分の遺伝子を後継する林分として保存する。
	クロマツ遺伝子保存林	S47	2.23	金木支署 597ほ	採種源:638ろ(伐採済)クロマツ優良林分の遺伝子を後継する林分として保存する。
精英樹保護林	スギ黒石5号	S30	0.04	津軽署 1045つ	スギ精英樹の選定林分を次代検定が終了するまで保存する。
	スギ深浦3号	S30	0.37	津軽署 3048さ	スギ精英樹の選定林分を次代検定が終了するまで保存する。
	スギ深浦4号	S30	0.25	津軽署 3048き	スギ精英樹の選定林分を次代検定が終了するまで保存する。
	ヒバ市浦1号	S30	0.26	金木支署 595ち	ヒバ精英樹の選定林分を次代検定が終了するまで保存する。
次代検定林	スギ次代検定林(一般)東青局79号	S60	1.44	津軽署 1008か	複数のスギ精英樹実生苗の成長等を把握し、その遺伝的性質を検証・評価する。
	スギ次代検定林(地域差)東青局49号	S55	2.00	津軽署 3007て	複数のスギ精英樹さし木苗の成長等を把握し、その適応地域の把握を検証・評価する。
	アカマツ次代検定林(一般)東青局19号	S49	2.00	津軽署 3050れ	複数のアカマツ精英樹実生苗の成長等を把握し、その遺伝的性質を検証・評価する。
	スギ次代検定林(一般)東青局80号	S61	1.14	金木支署 91ぬ1,ぬ2,ぬ3	複数のスギ精英樹実生苗の成長等を把握し、その遺伝的性質を検証・評価する。

種 類	名 称	設定年	面積(ha)	位置(林小班)	備 考
次代検定林	スギ次代検定林(一般) 東青局66号	S58	1.96	金木支署 543か	複数のスギ精英樹実生苗の成長等を把握し、その遺伝的性質を検証・評価する。
施業指標林	東岩木山ブナ	H2	8.77	津軽署 25り2,れ	ブナ天然生林における択伐施業の指標として活用する。
	毛無森ブナ	H元	3.83	津軽署 1054そ2	ブナ天然生林における複層伐(天然更新型)施業の指標として活用する。
	今泉ヒバ	H9	23.19	金木支署 347い	ヒバ天然生林における現有する個別施業技術を体系的に確立し、施業指標林として活用する。
	今泉スギ複層林	H9	6.24	金木支署 350は1,は2	スギ複層林において、施業技術の体系的に確立し、指標林として活用する。
展 示 林	湯ノ沢スギ人工林	S61	0.42	津軽署 714り	スギ人工林施業の指標として活用する。
	碓ヶ関関所外国樹種	S61	0.48	津軽署 723と1,と2	外国樹種植栽の適否についてを検証する。
試 験 地	低密度植栽試験地	H26	27.17	津軽署 7ち1,8か1	低密度植栽における植栽木の生存率や成長・材質への影響、生物多様性を検証する。
	津刈沢スギ種子産地試験地	S12	4.73	津軽署 739ほ,へ	タネの産地および母樹による造林成績の差異と諸特性を調査検討する。
	青森ヒバ施業検証試験地	H21	2.80 11.88	津軽署 323ち1 金木支署 204ろ	ヒバ資源の有効利用を図るために伐採率の異なる調査区設定し、5年ごとに稚樹の発生状況等調査を実施し、択伐実施後の当該林分の施業のあり方を検証する。
森 林 施 業	今泉山水土保全モデル林	H12	5.09	金木支署 350は1,は2	
モ デ ル 林	飯詰山ヒバ美林誘導モデル林	R4	10.67	金木支署 118は2	青森ヒバ天然林の優良林分を美林へ誘導する検討・試行の場として活用する。

種 類	名 称	設定年	延長(m)	位置(林小班)	備 考
溪 畔 保 全 プロジェクト林	島 田 川	R3	2,800	津軽署 584に 585い,と2,ち,ぬ1,ぬ2,わ 586い1,い2,い3,い4,ろ,は2,に,へ 587い1,い2,わ 593い1,ろ1,る1 594か 595い1 596い1,い2,い3,い4,ろ1,へ,ち	
	大 湊 川	R3	4,500	金木支署 123い1 125は2 126は1,は2 127ろ,に 128い,ろ 129い 130い1,ろ,は 131ろ2,は1,は2,に1,に2	